

いのちの山河

発行：上映会事務局
連絡先
山西：電話 559-2737
前田：電話 558-7857

昼は超満席。夜は大トラブル



大澤豊監督作品「いのちの山河～日本の青空Ⅱ～」の全国初の自主上映会があきる野市秋川キララホールで10月17日に行われ、1050名が鑑賞しました。昼の部は開場前から参加者が並び始めて、開場とともに人の波が押し寄せた感じでした。702席全てが埋まり(写真)、なお来場する方も居り、夜に変更していただく方も居りました。空席に案内するのに時間がかかり10分遅れての上映となりました。

感想が続々寄せられました。

実話を通してこれだけ迫力のある映画が完成されたことをとてもうれしく感じました(74歳・女)。本当の地方自治の姿を見ました。この心を全国に広げたいです(67歳・男)。大変感動しました。どんな大作の映画よりもすばらしかったです。(57歳・男)。政治的なことは誰かがやってくれる的な気持ちになってしまいがち。自分たちで取り組む姿勢の大切さを改めて学んだ(27歳女)。俳優さんたちの熱演でみんなで作りたいという思いがひしひしと伝わってきました。2時間があっという間でした(32歳・女)。深澤村長のことばが原点だと思います。この原点で政治が行われることを政権交代した今、心から願っています。政治家はもちろん全ての人たちに見てもらいたい映画です(55歳女)。本当に感動し、涙がでました。満席にも驚きました。憲法の大切さ、憲法を生かすことの大切さを改めて感じました(57歳女)。久しぶりにいい映画を鑑賞しました。主人公のひたむきな生き方に感動しました。ラストシーンでは涙が止まりませんでした(80歳男)。とても良かった。でも時々切れ、良い映画も観た気がなく、もう一度参加料無料で観せてください(59歳女)。☆アンケート・感想は109人から寄せられました。(写真は受付の様子)



昼夜で1050人が鑑賞

た。夜の部は、50%程度の入場でした。天候の様子などで昼に参加者が集中したためと思われえます。定刻に始まりましたが、途中映写機が故障し、1台の映写機でフィルム架け替えごとに中断しながらの上映となり、終了が30分ほど遅くなりました。予期せぬトラ

ブルが発生し、大変ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。(この件は、キララホール側と折衝中です)春ごろから準備して8月22日に上映会を発足させ取り組みました。19の賛同団体様、後援いただいたあきる野市教育委員会・あきる野市・日の出町、そしてチケット普及、宣伝カーの運行など皆様ありがとうございました。



大澤豊監督は昼夜ともに舞台あいさつを頂き、夜の部が終わってからもサイン会をしていただきました。また、前作「日本の青空」の主人公で憲法学者・故鈴木安蔵氏の長女・鹿島理智子さん、同じく前作の脚本家・池田太郎さんも参加しました。(写真はサイン会の様子)

◆60名が活躍◆

当日は昼夜でのべ60名のスタッフがチケットのもぎり、場内外の整理、保育、パンフレット販売などで活躍しました。ご協力ありがとうございました。

◆協力店様 チケット販売、ポスター掲示、チラシなどお忙しいなかご協力いただいたお店の皆様ありがとうございました。

☆日本国憲法第25条☆

1. すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
2. 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

ホームページに掲載

あきる野9条の会 検索

で9条の会のトップから上映会のページへお入り下さい。写真や報告、アンケートなど順次アップしますのでご覧下さい。